

UCCX スクリプト エディタ バージョン 10.5 が起動しない

目次

[はじめに](#)

[問題](#)

[症状](#)

[解決策](#)

[根本原因](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Contact Center Express (UCCX) スクリプト エディタ バージョン 10.5(1) の起動時に発生する問題について説明します。

問題

UCCX エディタ バージョン 10.5(1) (`CiscoUnifiedCCXEditor.exe`) を実行することができません。

症状

起動させたとき、UCCX エディター ウィンドウは秒以内のために現われ、消えます。アプリケーションは起動することを試みますが、消えます。

解決策

この問題を解決するために、CCX エディタのファイルがフォルダにあるかどうか確認して下さい : `C:\Program ファイル (x86)\wfavvid_1051`。これをチェックし、エディタ アイコン (ショートカット) を右クリックし、**Properties > ターゲット** にナビゲートするため。インストール フォルダは `C:\Program files(x86)` に直接あるはずですが。

時々、パスは不正確である場合もあります。次に、例を示します。 `C:\Program ファイル (x86)\Cisco\Unified Serviceability\JRtmt\wfavvid_1051`。

この問題を解決するためにこれらのステップを踏んで下さい:

1. ワークステーションの CCX スクリプト エディタ アプリケーションをアンインストールする

- ために、Control Panel > Add/Remove Programs にナビゲートして下さい。
2. エディタ アプリケーション (管理者として実行) を直接プログラム ファイルに再インストールし、明示的にパスを定義して下さい: C:\Program ファイル (x86)\wfavvid_1051。
 3. テストするためにアプリケーションを実行して下さい。

根本的原因

問題はインストール (パス) のデフォルトのロケーションと関連しています。それはそれらのファイルがない場合場所にハードコードされるファイルを探し、起動しません。デフォルトで、CCX エディタは場所にインストールする**必要があります**: C:\Program ファイル (x86)\wfavvid_1051。それが事実ではない場合、エディタは正しく実行されません。これをテストするために、問題は wfavvid_1051 フォルダを他の所でコピーする場合作り直すことができます。

また実時間監視ツール (RTMT) がワークステーションで以前にインストールされたら、UCCX エディタはユーザを誤ったパスにそれをインストールするためにプロンプト表示することが注意されました: C:\Program ファイル (x86)\Cisco\Unified Serviceability\JRtmt\wfavvid_1051。

不正確な場所は、エディタの起動失敗することインストールした後。現時点で、問題を解決するために以前に述べられるステップを踏む**必要があります**。回避策があるがインストール関連の問題を簡素化し、対処するために、機能拡張問題は開きました: [CSCur86817](#)。